

浜中町立茶内小学校 学校便り

令和7年8月29日発行「学校評価アンケート7月の結果」



茶内小だより

教育目標 ○思いやりのある子 ○目ら鍛える子 ○進んで学ぶ子

特別号

学校評価アンケート【7月の結果】					
		【肯定的意見】4:当てはまる 3:どちらかと言えば当てはまる 【否定的意見】1:当てはまらない 2:どちらかと言えば当てはまらない			
No.	評価項目	質問項目 *赤字は数値の低い項目	評価者	平均	3か4の割合
1	学校生活の安定と充実	学級の子供たちは、自己存在感や自己有用感を感じて登校している	教職員	3.2	100%
		私は、学校に来るのが楽しい	児 童	3.6	92%
		お子さんは、毎日楽しそうに通っている	保護者	3.5	87%
2	あいさつ	学級の子供たちが、自分から元気のよいあいさつができています	教職員	2.5	33%
		私は、自分から元気よくあいさつしている	児 童	3.5	90%
		お子さんは、自分から元気のよいあいさつをしている	保護者	3.2	79%
3	思いやりのある子	級友同士で助け合ったり、認め合ったりする学級風土ができています	教職員	2.9	83%
		私は、困っている人を助けたり、みんなで協力したりしている	児 童	3.7	97%
		お子さんは、思いやりのある態度で友達などに接している	保護者	3.3	92%
4	基礎基本の定着	学校は、子供たち一人一人に、基礎基本が定着するよう努めている	教職員	2.9	83%
		私は、漢字や計算の仕方を忘れないで覚えている	児 童	3.3	86%
		お子さんは、基礎的・基本的な学力が定着している	保護者	3.1	77%
5	主体性	児童が自分で考え、判断し、粘り強く行動する力をつける指導を積極的に行っている	教職員	3.1	83%
		私は、自分で考え、判断し、粘り強く行動することができている	児 童	3.3	93%
		お子さんは、自分で考え、判断し、粘り強く行動する力がついている	保護者	2.8	67%
6	学習の約束 *よくわかる茶内小参照	学級の児童は「学習の約束」が定着している	教職員	2.8	67%
		私は、「学習の約束」がしっかり身についている	児 童	3.5	96%
		お子さんは、学校や家庭で「学習の約束」を意識して勉強している	保護者	3.1	69%
7	体力向上	学校は、体力向上に向けた取組を工夫・充実させている	教職員	2.8	67%
		私は、学校や家で、体力向上にむけて積極的に体を動かしている	児 童	3.3	81%
		お子さんは、体力向上に向けて運動(体育や習い事を含む)を積極的に取り組んでいる	保護者	3.3	85%
8	家庭学習	授業や学習内容との関連を図った家庭学習(宿題)を指導している	教職員	3.1	92%
		私は、毎日「学年×10分」以上の家庭学習や宿題に取り組んでいる	児 童	3.4	85%
		お子さんは、家庭学習の習慣が身についている	保護者	3.0	69%
9	生活リズム	生活リズムチェック週間以外にも日常的に生活リズムの大切さを指導している	教職員	3.0	83%
		私は、早寝早起きをしたり、朝ごはんをしっかり食べたり規則正しく生活している	児 童	3.5	92%
		お子さんは、「早寝早起き朝ごはん」などを意識して生活している	保護者	3.4	90%
10	メディア等	学級の児童は、ゲームやSNS、テレビなど、時間やルールを決めて使っている	教職員	2.8	67%
		私は、ゲームやSNS、テレビなど、時間やルールを決めて使っている	児 童	3.2	76%
		お子さんは、ゲームやSNS、テレビなど、時間やルールを決めて使っている	保護者	2.8	56%
11	いじめ不登校の対応	学校は、いじめや不登校のない学校・学級づくりに努めている	教職員	3.5	92%
		学校(先生)は、いじめのない楽しい学級になるように取り組んでくれている	児 童	3.7	95%
		学校は、いじめや不登校のない学校づくりに努力している	保護者	3.3	95%
12	心理的安全性	児童一人一人を大切にし、子供の思いをくみ取っている	教職員	3.2	100%
		先生は、困ったり悩んだりした時に、話をきいてくれる	児 童	3.8	95%
		学校は、児童一人一人を大切にしている	保護者	3.3	90%
13	授業改善	わかりやすく楽しい授業になるよう、日々授業改善に努めている	教職員	3.2	92%
		先生の授業は、わかりやすくて楽しい	児 童	3.7	92%
		学校は、授業の進め方や説明の仕方など、わかりやすい授業をしている	保護者	3.3	95%
14	外部人材	地域や外部人材を活用した授業や体験活動をたくさん取り入れている	教職員	2.9	67%
		学校は、地域の人や色々な方を先生にした授業や体験活動をたくさんしてくれる	児 童	3.5	93%
		学校は、地域や外部人材を活用した授業や体験活動を充実させている	保護者	3.2	90%
15	危機管理	学校は、危機管理上の様々な事態の未然予防のための取組を徹底している	教職員	3.1	92%
		学校は、避難訓練や登下校時の指導など、安全のための指導をしっかりとしてくれる	児 童	3.8	100%
		学校は、子供たちの安心安全を確保するための取組を徹底している	保護者	3.4	97%
16	情報発信	学級の様子を学級だよりや連絡帳、電話等を通して、保護者と積極的に情報共有している	教職員	3.5	100%
		私は、学校のできごとを家の人に話している。	児 童	3.4	90%
		学校は、学校HPや学校・学級だより等を通して、学校の様子をわかりやすく発信している	保護者	3.5	100%
17	働き方改革 自己肯定感 学校と保護者の連携	時間外勤務が月45時間未満になるように業務の改善や工夫をしている	教職員	2.8	67%
		私にはよいところがある(自分で思ったり友達に言われたりしたことがある)	児 童	3.3	86%
		お子さんの様子や気になることを、気軽に学校に相談できる	保護者	3.3	92%

【結果と改善について】

◎多くの項目で肯定的な結果となりました。特に、⑩情報発信については保護者から肯定的な評価100%という評価をいただきました。今後も家庭と学校の連携が密となるような情報発信に努めて参ります。

▲③あいさつの項目では、教職員の数値が著しく低く、保護者も低い数値となりました。教職員視点での分析では、登校時、眠たげな児童が多いため、印象として低い数値となっているように思います。

⇒1学期は、全校一斉の挨拶指導に力を入れましたが、2学期は学級単位で日常的な指導を継続的に取り組みます。

▲④⑤⑥⑧について、保護者の数値が低くなりました。ご自身のお子さんについての回答ですので、あえて厳しい評価をつけられたのかと思います。⑥⑦は教職員の数値も低くなりました。

⇒学校教育の根幹となる項目です。校内研修など日常的な授業改善や学級経営の工夫に取り組んでまいります。

▲⑩メディアの使用については、教職員、児童、保護者、全てで低くなりました。

⇒全国的に社会問題となっています。携帯会社や警察等、外部機関と連携し、メディアとのかかわり方について学習を深めてまいります。

▲⑭外部人材の活用については、活用しやすい学年だけでなく、学校全体として工夫していきたいと思っています。

【自由記述から】

○学力に個人差があるので、もう少しゆっくり教えて欲しいです(低学年)

⇒本校の校内研修では「主体的に取り組み、学び伝え合う児童の育成 ～学力向上を目指す日々の授業改善～」をテーマに、日常的な授業改善を図っています。その中で一人一人の学びに応じた指導や支援の工夫についても改善を図っているところです。ご指摘の点につきましては、これまで以上に児童の実態把握につとめ、児童の思考に寄り添った授業づくりをすすめてまいります。

○今回のアンケートには関係ないですが、学校に小型扇風機を持っていても良いですか？霧多布小は持っていいとのこと聞いたのですが、茶内小も許可がありますか？(低学年)

⇒本校では使用を許可しておりません。理由としましては、①授業中に小型扇風機を使用すると、学習へ集中できない児童が増えてしまう。②落下による破損やトラブル。また、落下による衝撃や故障による発火事故の事例が全国で起きている。などがあります。現在は首に巻く冷却タオルや冷却リング等、授業の集中を妨げる可能性や破損の可能性が低い物のみ使用をお願いしています。ご理解いただけると幸いです。ただ、今後も熱中症対策は必須の地域ですので、柔軟な対応を検討してまいります。

○運動会での事なのですが、観客席の前列や2列目に椅子で見られると3列目では見えないので、前側が当たった人は座って見て欲しいです。椅子でみたい人は前を譲って欲しいです。学校の方で案内的な物を出して欲しいです。(低学年)

⇒せっかくの全校行事を気持ちよくご観覧いただけず大変申し訳ありませんでした。PTA 役員会でも同様の意見があがっており、来年にむけての改善点の一つです。正式な対応は後日提示しますが、学校からの運動会便り等で周知したいと考えています。

○いつもお世話になり、ありがとうございます。もし可能でしたら、水筒ではなくペットボトルのお茶や水を持たせる事は可能でしょうか？水を入れた水筒が重かったり、毎日洗うのも大変だったりするので、どうでしょうか？(高学年)

⇒水筒で統一していますが、場合によっては(急な事情で準備できない場合)、ペットボトルの持参も可能です。その場合、市販のペットボトルケースに入れ、必ず記名して持たせてください。

○放課後、休日にグラウンドで遊べるのか分からない(高学年)

⇒これまで特に周知をしておりませんでした。学校のグラウンドや遊具は自由に使用できます。現在、野球同好会に貸与しているスペースもありますので、接触等の安全面に留意していただき活用していただければと思います。ただし、野球大会や練習試合等を実施している際は車両の出入りも増えますので、使用をご遠慮ください。

○担任の先生の指導がとても的確で、自主学習も自ら真剣に取り組むようになりました。学力も目に見えて向上しています。先生に感謝です。(高学年)

⇒ありがとうございます。別なご質問でも回答いたしました。が、「子供たち一人一人に応じた指導」とともに大切にしているのが、「学びに向かう集団づくり」です。現状に安心することなく全ての学級において、子供たちが意欲的に学びたいと思う学級風土の醸成に努めてまいります。

○プリント類は出来るだけメールで配信して頂けると助かります。以前よりメールが増えたと思いますが、紙媒体をなるべく減らす方向でお願いたいです。給食に関して、子供達の意見をフィードバックするとより良い給食になると思います。(高学年)

⇒今後も安心メールの活用と充実を努めます。給食については、給食アンケートの実施について、給食センターと連携し豊かな食生活につながる学校給食となるよう働きかけてまいります。

○クラブ活動の回数が少ない。校外学習が少ない。行事や4時間授業の日の連絡が遅い(高学年)

⇒①クラブ活動は10～20年前と比べると全国的に大きく削減されています。クラブ活動のねらいは、共通の趣味や興味のある子供たちが集まって異学年活動をするを通して自主性や個性を育むことにあります。クラブ活動に拠らない本校独自の取組として縦割り班活動の充実に取り組んでいるところです。

②校外学習につきましては、外部人材や地域資源の活用に力を入れ始めたところです。活用しやすい学年や教科などの偏りはありますが、今後も各教科の指導内容に合わせて創意工夫し実施してまいります。

③行事や4時間授業のお知らせにつきましては、年間行事予定、学校だより、学年通信で早めにお知らせできるよう努力いたします。